

ユネスコスクール全国大会に向けて

12月2日に、大牟田市において文部科学省、日本ユネスコ国内委員会主催、大牟田市教育委員会等の共催により「ユネスコスクール全国大会/ESD研究大会」を開催します。今大会では、「我が国を最先端の持続可能な社会に—ESDのゴールを目指して」をテーマに、特別講演や分科会、情報交換会等を行います。今大会は、初めて九州で開催し、ESDの推進拠点であるユネスコスクールを軸に、ESDに関心のある方が会し、更なる発展を目指し実践交流を行います。

「ユネスコスクール全国大会」の概要

日時：平成29年12月2日(土) 10:00~17:15

場所：大牟田文化会館

日程

- 10:00~10:15 開会式
- 10:15~10:40 今後のESD推進に関する施策説明(文部科学省)
- 10:45~11:30

特別講演「国際的なユネスコスクールの動向を学ぶ」
講師：ユネスコ本部教育局ユネスコスクール担当課長
ザビーネ・デツェル氏

- 11:45~12:45 ランチセッション
- 13:00~14:45 分科会

※ワークショップ(5分科会)

- ①「世界文化遺産の効果的な学習を実践しよう」
- ②「地域素材の活用を学ぼう」
- ③「SDGsのゴールに向けて～SDGsをゲームで学ぼう」
- ④「グローバル人材の育成にトライしよう」
- ⑤「ホールスクールアプローチを実践しよう」

※テーマ別研修会(5分科会)

- ①「チーム学校とESD」
- ②「ESDをコアにしたカリキュラム・マネジメント」
- ③「主体的・対話的で深い学びとESD」
- ④「道徳、心の教育とESD」
- ⑤「防災とESD」

- 15:00~16:20 パネルディスカッション
「50年後の社会に向けたESDによる人材育成」
- 16:20~16:45 全体会
「ユネスコスクール・ネットワーク化に向けた取組」
- 16:45~17:15 第8回 ESD大賞表彰式・閉会式

※前日、吉野小学校、地区公民館にて吉野小、橘中、宮原中の公開授業が行われます。



大会成功に
向けて
大牟田の心
を一つに!

大牟田市立玉川小学校の実践

第5学年「米作りに挑戦しよう」を通して

玉川小の5年生は、地域の方やJAの方に協力していただき、「米作り」に挑戦しています。田植えから始まり、観察・草取り、稲刈り、もちつき、そして伝統芸能「米はかり踊り」の取り組みまで、年間を通して学習を行います。子ども達は、農家の方の苦労や努力、収穫の喜びを肌で感じることが出来ます。もちつきをした後は、地域の一人暮らしの方へもちを配り喜ばれると同時に、役に立つ満足感を感じることが出来ます。「米はかり踊り」は、6年生や保存会の方に教えていただき、伝統芸能を受け継いでいきます。今年は、市制100周年を記念して行われる「市民劇」の中でも、披露する予定になっています。今から楽しみです。



大牟田市立宮原中学校の実践

世界遺産発信プロジェクト&服のチカラプロジェクト

3年生は、大牟田をもっと明るく元気なまちにして、宮原坑を訪れる人々が増えることを目的に、「笑顔いっぱい 花いっぱいプロジェクト」に取り組んでいます。2年目の今年は、地域の方や市役所の方々と一緒に、宮原坑の駐車場、校内にひまわりの花を咲かせました。今後は、このプロジェクトを後輩につなぎたいと考えています。また、昨年度に引き続きボランティアの生徒達で、リサイクルの子ども服を回収し難民の子どもたちに送る「ユニクロ服のチカラプロジェクト」に取り組んでいます。夏休みに回収Boxを作り、校内はもちろんのこと地域の方々にもお願いしています。11月中旬まで回収します。

